

日本百名城・続日本百名城を制覇して

旅で繋がる歴史のタテ糸とヨコ糸

渡辺俊之（1944年生まれ・東京都）
公認会計士・税理士



はじめに

人生百年時代を迎えて

人生百年時代、いつまで働き続けるのか？との自問自答を繰り返しながら、すでに現役生活60年。やっと昨年暮れ、待ちに待った老年者年長組の80歳台に突入しました。数年前、拙著『会計リテラシーで見えないお金が見えてくる』を読んだくれた方から「人生百年時代の会計人の生き方」のテーマで講演をするよう依頼を受け、「人生四分説」を訴えました。

- ◆第1期、仕込期・教育期
0歳〜10歳台後半・20歳台前半まで
- ◆第2期、仕事&学び期
20歳台から60歳台
- ◆第3期、仕事&束縛のない自由生活期

に我が家の床の間に掲げられています。

いまだ現役で働き続けているので、日本を2週した城巡りの旅も、その殆どが土日祝日で、正月休み、5月の連休など土日祝日はすべて城巡りに充てられたといっても過言ではありません。

城巡りといっても天守閣のあるのは、現存天守（12）、復興天守（14）、外観復元天守（9）、木造復元天守（5）の合計40城（模擬天守除く）しかなく、あとはすべて城跡であるので、山城も多く、ハイキング、トレッキング、登山といった具合で、足腰がしっかりしていないと、制覇は難しいかもしれません。我々夫婦も70歳台でやり遂げられてよかったとつくづく感じています。

旅から学んだこと

歴史は繋がるタテとヨコ

城巡りをするに必ず、地元の歴史郷土博物館のような施設を訪ねます。ということとは、日本全国の城巡りをしていると、歴史のタテ糸とヨコ糸が自然

- ◆60歳台〜後半人生年少組
- 70歳台〜後半人生年中組
- 80歳台〜後半人生年長組
- ◆第4期、自己超越期
- 90歳台〜老年者成年組
- 100歳台〜老年者超越期

70歳台は孔子によれば「従心」（心の欲するところに従えども矩を超えず）。私は自分の講演では80歳台は「超越」、90歳台は「悟道」、100歳台は「昇華」と定義づけています。

いよいよ私自身が80歳台の「超越」の時代に入ってます。ということは、70歳台の自己実現を通過し超越の時代にしなければならぬものの、とてもそんな境地にはまだなれていません。



▲ 続百名城達成 赤城城 200/200 城 2023/2/3

つながっていくのです。

山口の錦の御旗製作所跡に行けば鳥羽伏見の戦いでなぜ官軍が勝てたのか、そして鹿児島（鶴丸）城に行けば西郷隆盛の業績が気になり、奄美大島や沖永良部島に行ってきたり、そして山形庄内との深いかかわりや、私の地元・東京芝の薩摩藩邸焼き討ち事件との繋がりがそして戊辰戦争に結び付くのです。

吉野ケ里遺跡訪問から古代史への関心が深まり、三内丸山遺跡に行きたくなり、出雲の国や諏訪神社・戸隠神社・伊勢神

旅から学ぶ

日本百名城・続日本百名城を制覇して

さて与えられたテーマは「学ぶ・旅から学ぶ」です。まずその経緯と行動実績を振り返ってみます。

2015年3月の江戸城から始まり、2017年5月の津和野城までの2年2か月で日本百名城を制覇。そして2018年4月の品川台場から2023年2月の赤木城までの4年10か月で続日本百名城を制覇。秀吉は天下統一に8年を要したのに対し、私の全国制覇は7年だったと、うそぶいています。

これは公益財団法人日本城郭協会のスタンブラリーに夫婦そろってチャレンジしたもので、登城認定証2枚が誇らしげ

宮・高千穂峽を訪れるうちに古事記・日本書紀への関心が高まります。年のせいか、その繋がりが、沢山あります。頭の中がグチャグチャになってます。

印象に残っている場所

上杉謙信から12代までが一所に集められた米沢藩上杉家の墓も立派でした。そして国防の観点から印象に残ったのが対馬の金田城です。景色の素晴らしさもあることから1300年以上前の防人達の献身的努力が日本国を守ってくれたのです。感謝せざるを得ません。そして対馬の宗氏の墓。38代の墓が一所に集まっています。これも見事です。

城巡りが縁で認定NPO法人江戸城天守を再建する会での活動にも熱が入ってきました。



人生百年時代の仕事の仕方のレジュメ
<https://1drv.ms/b/s!AkD2iayZvaMIkLNcGP9ggMafDeSiMg?e=mrTdkU>



日本二百名城の城巡り
<https://1drv.ms/b/s!AkD2iayZvaMIkLNcGP9ggMafDeSiMg?e=pf2DR>

